

平成31年度 入学式 式辞

平成31年4月8日（月）

ここ大野の里にも桜前線が訪れるとともに、令和という新しい時代の幕開けが近づいて参りました。本日は、いわき市議会議員 川崎 憲正 様をはじめ、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、いわき市立大野中学校入学式を挙げる事ができますことに、衷心より感謝申し上げます。

さて、5名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校の制服を身にまとい、緊張と期待に満ち溢れた皆さんの姿は、とても眩しく、そして凛々しく感じられます。その反面、中学校生活への一抹の不安もあることでしょう。でも大丈夫です。大野中の2年生、3年生の先輩たちがついていきます。先生方がそばにいます。そして地域の皆さんが温かく見守ってくださっています。学校は、学び合い、高め合う、楽しいところです。新入生の皆さんの中学校生活をみんなで応援しています。

大野中学校の教育目標は、「自立と貢献」です。「自立」とは、自分らしさを見失わずに、自分の足で立ち、自分の頭で考えることです。また、「貢献」とは、周りの人たちに「してもらおう」「やってもらおう」という受け身の姿勢ではなく、「自分には何ができるのか」を考え、実行することです。大野中の生徒ならば誰しもが、「自立と貢献」を目標に日々成長し、卒業の時には、「自立貢献」に相応しい志を立て、この学び舎から巣立っていくことを期待しています。

そこで、皆さんに、3つの言葉を贈ります。1つめは、「チャレンジ」です。人口減少や少子高齢化、人工知能が発達するこれからの時代には、その変化を前向きに受け止め、人間ならではの感性を働かせ、未来の姿を思い描き、それを実現しようとする自主性や主体性が求められます。したがって、中学生の時から、様々なチャンスに失敗を恐れずチャレンジして、経験値を上げてください。

2つめは、「探究する力」です。変化やグローバル化が著しい現代社会では、「言われたことを言われた通りにする力」よりも、「自ら課題を見つけ、それを解決する力」が求められます。また、皆さんが将来どのような人生を送るにしても、「自立」をして「自由」に生きるためには、「探究する力」が必要になります。中学校では、「自分なりの問いを立て、自分なりの方法で、自分なりの答えを導き出す」、そのような「探究」の経験をたっぷりと積んでください。

3つめは、「仲間」です。大野中の校章の中央には、学友が固く手を結んで、相携え、助け合い、励まし合って、新しい時代を開拓していく決意がデザインされています。このように、同じ学年は勿論、先輩や後輩の垣根を越えて、学び合い、助け合える仲間、大人になっても、故郷を共に支え、腹を割って語り合える

仲間をこの学校でつくってください。

次に、保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。また、ご来賓の皆様からは、これまでも多くのご支援を頂いておりますことに、重ねて感謝申し上げます。私たち教職員一同は、生徒一人一人の限らない可能性を信じ、その力を最大限に伸ばすために、責任を持って教育活動に当たって参ります。しかし、ご承知のとおり、教育は学校だけで担うものではなく、保護者や地域の皆様との深いつながりをもとに成立する営みであります。従いまして、今後も、学校、家庭、地域が一体となって、未来を切り拓く力を子どもたちに育んで参りたいと思っておりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、新入生一人一人の心身共に健やかな成長を祈って、式辞といたします。

平成31年4月8日

いわき市立大野中学校長 田中 淳一